

議第1号

景観重要建造物の指定について

平成25年 7月 24日

中津川市景観審議会長

建物名称	清水屋原家住宅	NO.	3
所在地	中津川市馬籠 4284番地	建築年代	明治28～40年
所有者		所有者住所	
棟数	2 棟 (内訳) 主屋(資料館)、土蔵(資料館)		
建築面積	(主屋)182 m ² (土蔵)25 m ²	延床面積	(主屋)282 m ² (土蔵)50 m ²
構造等	(主屋) 木造2階建 切妻造 棧瓦葺 (土蔵) 土蔵造2階建 棧瓦葺		
変更	有り 昭和45年(1970)3月1日 主屋2階を展示室とした清水屋資料館の開館に合わせて一部の部屋を改造		
外観の特徴	<p>清水屋原家は馬籠宿で古くから宿役人・村役・村長・地主をつとめた旧家。南西から北東に伸びる中山道馬籠宿の南西端いわゆる下の入口の近くに位置し、上り坂の街道の右手(南側)に主屋が建つ。主屋の背面(南側)には庭が広がり、庭の西から南にかけて土蔵や近年建て替えられた建物が建つ。</p> <p>土蔵は、土蔵造2階建、切妻造 棧瓦葺、正面庇付で、主屋の南側、庭に面して東に向いて建つ。同敷地内の他の土蔵や水車小屋が近年建て替えられている中で、同時期に建築されたと考えられる主屋とともに、当初の形態をよく保っており、庭園と合わせて重要な景観要素となっている。</p>		
指定の理由	<p>「清水屋」は一部を資料館として一般公開し地域の歴史文化伝達に尽力されている。資料館として一部改造されている部分があるものの、かつての馬籠宿の宿役人等としての規模と格式を備えた貴重な建築遺構であり、馬籠地域のシンボリック景観の一つであることから、良好な景観形成に重要な建造物として保全すべきものである。</p>		
備考	<p>平成21年 名古屋工業大学大学院 麓 和善教授の建物調査実施済み。 (別紙 麓教授の所見を参照) 平成25年3月 国の登録有形文化財として登録。</p> <p>清水屋当主の原一平は、島崎藤村の私小説『嵐』に登場。</p>		



景観重点区域
馬籠中山道地区
馬籠宿地区



①



②

